

令和5年度 第1回 県政インターネットモニターアンケート(市町行財政課・マーケティング課・森林計画課・河川企画課)

※表の中の「n」は、各設問の回答者総数を示す。

回答者数:602人(回答率:89.6%)			
	カテゴリー名	回答者数	%
性別	男性	236	39.2%
	女性	365	60.6%
	その他	1	0.2%
年代	10代	17	2.8%
	20代	47	7.8%
	30代	71	11.8%
	40代	109	18.1%
	50代	160	26.6%
	60代	117	19.4%
	70代	63	10.5%
	80代	18	3.0%
住所	90代	0	0.0%
	賀茂	3	0.5%
	東部	179	29.7%
	中部	247	41.0%
	西部	172	28.6%
職業	県外	1	0.2%
	自営業	39	6.5%
	会社員	195	32.4%
	公務員	18	3.0%
	パート・内職従事者	118	19.6%
	学生	49	8.1%
	無職	158	26.2%
その他	25	4.2%	

○第31回静岡県議会議員選挙に関するアンケート

問1(回答数1)	n=602	人	%
1 投票に行った		385	64.0%
2 投票に行かなかった		106	17.6%
3 まだ選挙権を持っていない(18歳未満)		6	1.0%
4 無投票だった		105	17.4%

問1-2(複数回答)	n=106	人	%
1 仕事があったから		23	21.7%
2 体調がすぐれなかったから		16	15.1%
3 投票所が遠かったから		7	6.6%
4 今住んでいるところに選挙権がないから		7	6.6%
5 選挙にあまり関心がなかったから		27	25.5%
6 投票したい人が1人もいなかったから		27	25.5%
7 候補者の政策など、違いがよく分からなかったから		15	14.2%
8 自分一人が投票してもしなくても同じだから		7	6.6%
9 自分のように政治のことがわからない者は投票しない方がいいと思ったから		2	1.9%
10 選挙によって政治はよくなると思ったから		7	6.6%
11 選挙があることを知らなかったから		3	2.8%
12 その他		15	14.2%
13 わからない		0	0.0%

問2(複数回答)	n=602	人	%
1 テレビCM		188	31.2%
2 ラジオCM		35	5.8%
3 県・市区町などの広報車による放送(候補者の選挙運動用自動車は含まない)		161	26.7%
4 テレビの情報番組での特集		155	25.7%
5 新聞広告		243	40.4%
6 検索サイトやSNSでの広告表示、動画配信		52	8.6%
7 公共施設や店舗等でのポスター掲示		202	33.6%
8 選挙公報		238	39.5%
9 駅・商業施設での啓発キャンペーン		34	5.6%
10 啓発物品(ウェットティッシュ)		6	1.0%
11 県民だより		164	27.2%
12 市町の広報紙		133	22.1%
13 県のホームページ		28	4.7%
14 市区町のホームページ		32	5.3%
15 その他		12	2.0%
16 聞きしなかった		43	7.1%
17 わからない		5	0.8%

問3(回答数1)	n=602	人	%
1 知っていた		104	17.3%
2 知らなかった		498	82.7%

問3-2(複数回答)	n=104	人	%
1 テレビ		28	26.9%
2 ラジオ(K-mix)		4	3.8%
3 新聞		15	14.4%
4 検索サイトやSNSでの広告表示		11	10.6%
5 公共施設や店舗等でのポスター掲示		11	10.6%
6 JR在来線でのテーマトレイン		1	1.0%
7 ハローナビしずおか		2	1.9%
8 フォトコンまとめサイト		0	0.0%
9 チラシ		6	5.8%
10 県民だより		42	40.4%
11 市町広報紙		7	6.7%
12 県のホームページ		9	8.7%
13 市区町のホームページ		5	4.8%
14 LINE県公式アカウントからの通知		11	10.6%
15 Twitter県公式アカウントの投稿		0	0.0%
16 Instagram県公式アカウントの投稿		2	1.9%
17 SNS市町公式アカウントの投稿		2	1.9%
18 検索サイトでのフォトコン検索		0	0.0%
19 Twitterのハッシュタグ検索		1	1.0%
20 Instagramのハッシュタグ検索		1	1.0%
21 知人からの口コミ		2	1.9%
22 その他		4	3.8%
23 わからない		2	1.9%

問3-3(回答数3つまで)	n=104	人	%
1 第1弾「投稿しよう! 推し景色」に参加した		2	1.9%
2 第2弾「投票しよう!!わがまち景色」に参加した		1	1.0%
3 第3弾「投票しよう!!静岡代表景色」に参加した		1	1.0%
4 参加しなかった		100	96.2%

問3-4(回答数1)	n=498	人	%
1 知っていたら参加した		85	17.1%
2 知っていても参加しなかった		413	82.9%

問3-4-2(複数回答)	n=413	人	%
1 写真を撮ることに興味が無いから		140	33.9%
2 フォトコンに興味が無いから		208	50.4%
3 人気投票の対象になるのが嫌だから		27	6.5%
4 投稿するのが面倒だから		89	21.5%
5 期間が短く参加する暇が無いから		43	10.4%
6 コンテストの内容がわかりにくいから		70	16.9%
7 その他		31	7.5%

○「県産品の販路拡大等」に関する調査

問1(回答数1)	n=602	人	%
1 「しずおか食セレクション」の取組を知っている		223	37.0%
2 知らない		379	63.0%

問2(複数回答)	n=602	人	%
1 スーパーやコンビニ等で「頂」のロゴマークがついた商品を見たことがある		87	14.5%
2 スーパーやコンビニ等で「頂」のロゴマークがついた商品のフェアを見たことがある		38	6.3%
3 見たことはないが、「頂」を知っている		67	11.1%
4 その他		1	0.2%
5 「頂」を知らない		429	71.3%

問3(回答数1)	n=602	人	%
1 スーパーやコンビニ等で「ふじのくに」の商品を見たことがある		85	14.1%
2 「ふじのくに」の商品のフェアを見たことがある		37	6.1%
3 見たことはないが、「ふじのくに」を知っている		92	15.3%
4 「ふじのくに」を知らない		388	64.5%

問5(複数回答)	n=602	人	%
1 地元で生産された新鮮なものを購入したいので、生産地を考慮して購入		305	50.7%
2 地元の生産者を応援したいので、生産地を考慮して購入		192	31.9%
3 生産地(県内外)に関わらず、生産者の生産理念や生産方法を考慮して購入		86	14.3%
4 生産地(県内外)に関わらず、一定基準で認定され、信用できるブランド商品を購入		166	27.6%
5 生産地(県内外)に関わらず、なるべく安価なものを購入		231	38.4%
6 その他		29	4.8%

問6(複数回答)	n=602	人	%
1 「バイ・シズオカ」の取組を知っている		297	49.3%
2 「バイ・ふじのくに」の取組を知っている		186	30.9%
3 「バイ・山の洲」の取組を知っている		46	7.6%
4 知らない		259	43.0%

問7(複数回答)	n=602	人	%
1 スーパー等実際の店舗で静岡県産品を購入したことがある		201	33.4%
2 スーパー、コンビニ等で「頂」のロゴマークがついた商品を購入したことがある		43	7.1%
3 県内で開催されたバイ・山の洲物産展、バイ・ふじのくに物産市に参加したことがある(令和4年度は7月に静岡伊勢丹、山梨県、10月に青葉公園にて開催)		24	4.0%
4 通販サイト(EC)等インターネットを使って静岡県産品を購入したことがある		22	3.7%
5 県産品を活用した飲食店を利用したことがある		49	8.1%
6 企業広告等に「頂」のロゴマークを利活用したことがある		2	0.3%
7 県内の宿泊施設や観光施設を利用したことがある		100	16.6%
8 山梨県、長野県、新潟県産の農林水産物の購入や観光・宿泊施設の利用をしたことがある		79	13.1%
9 その他		5	0.8%
10 参加や利用をしたことがない		298	49.5%

問8(回答数1)	n=602	人	%
1 SDGsに関心があり、多少価格が高くても認証を受けた飲食店や生産者の農作物を活用したい		60	10.0%
2 SDGsに関心があり、同価格ならば認証を受けた飲食店や生産者の農作物を活用したい		285	47.3%
3 SDGsに関心はあるものの、認証を受けた飲食店や生産者の農作物を活用するかは分からない		186	30.9%
4 SDGsに関心が無いため、認証の有無により活用の判断は変わらない		71	11.8%

○森の力再生事業と森林(もり)づくり県民税に関するアンケート

問1(回答数3つまで)	n=602	人	%
1 水を蓄え、浄化により良質な水を供給する働き		447	74.3%
2 山崩れや洪水などの災害を防止する働き		441	73.3%
3 二酸化炭素の吸収などによる地球温暖化防止の働き		370	61.5%
4 木材等を生産する働き		64	10.6%
5 動植物の生育・生息の場としての働き		207	34.4%
6 自然に親しみ、森林と人とのかかわりを学ぶなど教育の場としての働き		102	16.9%
7 その他		6	1.0%
8 わからない		9	1.5%

問2(回答数1)	n=602	人	%
1 問題だと思う		493	81.9%
2 どちらかというと問題だと思う		91	15.1%
3 問題とは考えられない		7	1.2%
4 わからない		11	1.8%

問3(回答数1)	n=602	人	%
1 大いに評価できる		165	27.4%
2 評価できる		307	51.0%
3 あまり評価できない		41	6.8%
4 評価できない		17	2.8%
5 わからない		72	12.0%

問4(回答数1)	n=602	人	%
1 負担については理解できる		346	57.5%
2 負担については理解するが、負担感はある		162	26.9%
3 負担を求めるべきでない		64	10.6%
4 わからない		30	5.0%

問5(回答数1)	n=602	人	%
1 県は引き続き、市町の事業と役割分担しながら荒廃森林の再生に取り組むべき		260	43.2%
2 負担感はあるが、県が引き続き荒廃森林の再生に取り組むことは理解できる		279	46.3%
3 県は荒廃森林の再生に取り組む必要はない		25	4.2%
4 わからない		38	6.3%

○流域治水に関する意識調査

問1(回答数1)	n=602	人	%
1 知っており、内容についても概ね理解している		113	18.8%
2 知っているが、内容については理解はしていない		148	24.6%
3 知らない		341	56.6%

問2(回答数1)	n=602	人	%
1 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策(河川改修や遊水地、雨水貯留施設の整備など)		338	56.1%
2 被害対象を減少させるための対策(災害リスクが低い土地への家屋等の移転・誘導、住まい方の工夫など)		113	18.8%
3 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策(避難体制や情報提供の強化、水害リスク情報の周知など)		118	19.6%
4 わからない		33	5.5%

問3(回答数1)	n=602	人	%
1 知っていた		261	43.4%
2 知らなかった		341	56.6%

問4(回答数1)	n=602	人	%
1 支川や排水路の改修、排水ポンプの設置・増強		296	49.2%
2 内水氾濫が発生しても被害が生じない住まい方への転換(災害を受ける可能性が低い土地への家屋等の移転・誘導、住まい方の工夫など)		120	19.9%
3 早期に避難できる体制の整備(避難体制や情報提供の強化、水害リスク情報の周知など)		132	21.9%
4 その他		13	2.2%
5 わからない		41	6.8%

問5(回答数1)	n=602	人	%
1 「被害対象を減少させるための対策」を積極的に推進すべきだと思う		238	39.5%
2 「被害対象を減少させるための対策」は有効だと思うが、地域発展のためには慎重に行うべきである		288	47.8%
3 「被害対象を減少させるための対策」は浸水被害の軽減効果が低いので、推進する必要はない		26	4.3%
4 その他		11	1.8%
5 わからない		39	6.5%

問6(回答数1)	n=602	人	%
1 移転はしたくない(理由:住み慣れた地域であるためなど)		104	17.3%
2 建替えなどとタイミングが合えば、移転を検討する		108	17.9%
3 金銭的な補助があれば、移転を検討する		320	53.2%
4 移転する(理由:浸水被害を受けたくないためなど)		35	5.8%
5 わからない		35	5.8%

問7(回答数1)	n=602	人	%
1 非常に重要であり、施設整備(ハード対策)より優先的に今後も充実すべきである		187	31.1%
2 重要な対策ではあるが、河川改修などの施設整備を優先させるべきである		186	30.9%
3それほど重要とは思えないので、河川改修などの施設整備を優先すべきである		28	4.7%
4 ソフト対策と施設整備(ハード対策)の両方をバランスよく実施すべきである		185	30.7%
5 わからない		16	2.7%

問8(複数回答)	n=602	人	%
1 洪水ハザードマップの作成・公表		404	67.1%
2 インターネットを活用した雨量・水位情報の提供		378	62.8%
3 市町による警戒レベル等の指示(避難指示など)		362	60.1%
4 水防団・消防団等の組織強化		108	17.9%
5 水防ボランティアの育成		85	14.1%
6 防災訓練等の実施		140	23.3%
7 高齢者や障害者などの要配慮者への支援体制の強化		242	40.2%
8 土地利用規制、誘導、移転促進		129	21.4%
9 排水ポンプ車など氾濫水の排水強化		164	27.2%
10 民間の調整池等の活用		126	20.9%
11 特に必要はない		7	1.2%
12 わからない		9	1.5%
13 その他		13	2.2%

問9(複数回答)	n=602	人	%
1 テレビ		512	85.0%
2 ラジオ		146	24.3%
3 新聞		158	26.2%
4 インターネット		485	80.6%
5 SNS		218	36.2%
6 近所の人からの情報		64	10.6%
7 市町の同報無線		169	28.1%
8 その他		6	1.0%

問10(複数回答)	n=602	人	%
1 今後の雨の降り方		496	82.4%
2 現在の降雨		263	43.7%
3 河川の水位		467	77.6%
4 浸水の状況		311	51.7%
5 災害の発生		315	52.3%
6 注意報・警報等の発令状況		366	60.8%
7 避難の方法・避難場所		286	47.5%
8 その他		4	0.7%

問11(回答数1)	n=602	人	%
1 各戸貯留・浸透という考え方に興味・関心がある		382	63.5%
2 各戸貯留・浸透という考え方に興味・関心はない		88	14.6%
3 わからない		132	21.9%

問12(複数回答)	n=602	人	%
1 家族同士の安否確認の方法を決めている		200	33.2%
2 水害発生時の避難場所や避難ルートを決めている		130	21.6%
3 土のうや止水板等の水害対策グッズを用意している		37	6.1%
4 宅地周囲などに水害防止対策を施している		27	4.5%
5 非常食や医療品などを準備している		387	64.3%
6 家財や貴重品の置き場所に注意している		112	18.6%
7 家屋などに保険をかけている		208	34.6%
8 安全な場所への移転を考えている		14	2.3%
9 地域の防災訓練や勉強会等に積極的に参加している		74	12.3%
10 自主防災組織に参加している		48	8.0%
11 近所や地域内の高齢者や乳幼児など、災害時に配慮が必要な人を理解している		38	6.3%
12 「私の避難計画」など自分自身の防災行動計画を作成している		14	2.3%
13 その他		30	5.0%